

「電気な人はだれ？ ～電気でわかる性格診断ゲーム」実施マニュアル

Ver. 3.0



財団法人 北海道環境財団
地球温暖化ふせぎ隊
札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F
TEL. 011-218-7811 FAX. 011-218-7812

■はじめに

「電気な人はだれ？」実施マニュアル

01

自分にとって本当に必要な電化製品とは何でしょうか？

私たちの生活は、電化製品やガソリン等の燃料を使う多くの機器に支えられています。普段何気なく使っている様々な電化製品（電気を使う道具たち）やガス器具、クルマなどの中で、自分にとって本当に必要なものはどのくらいあるのでしょうか？生活の一部となっているこうした機器を「我慢して使わない」ということはできませんが、「使う時と使わなくても良い時を選択する」ことはできるのではないのでしょうか？

「電気な人はだれ？」のゲームでは、『その電化製品やガス器具などがなかったとしたら代わりにどんなことをすれば良いか』を参加者各自に考えてもらうことで、電気などのエネルギーに頼った普段の生活を見つめなおしてもらうとともに、自分なりの省エネ行動を発見するきっかけ作りを行います。

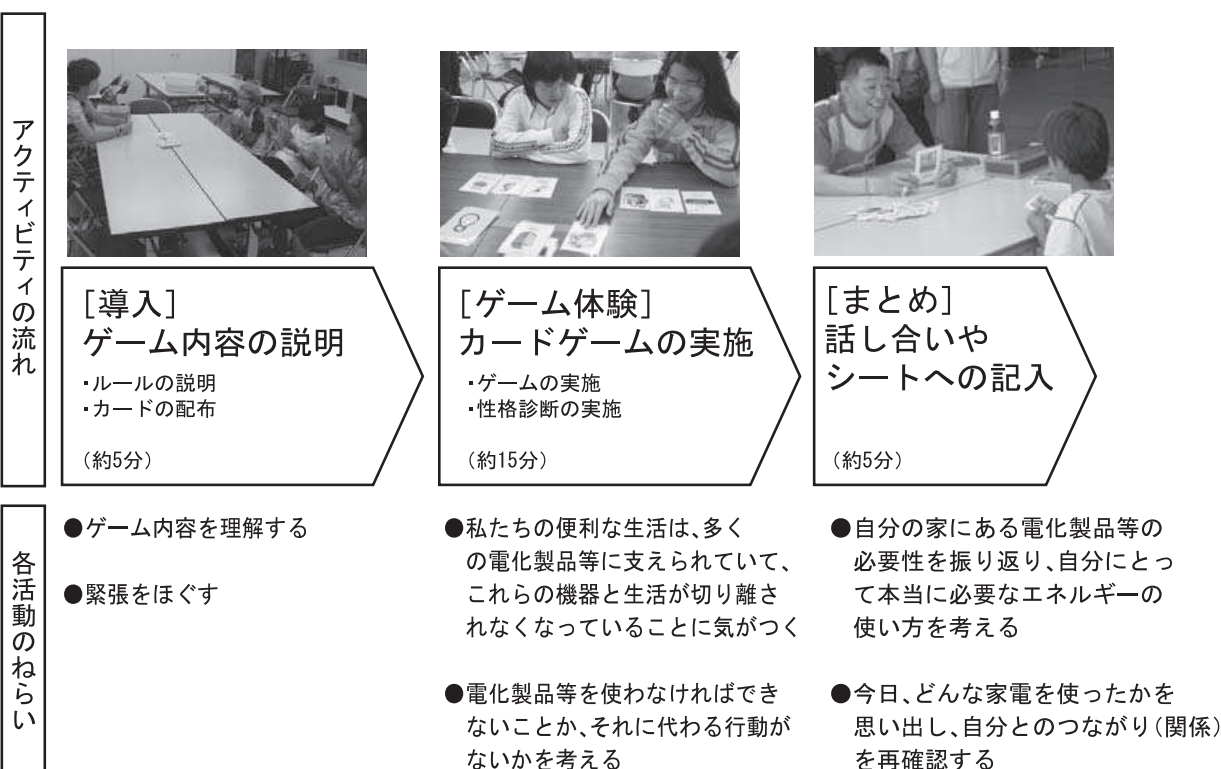


- 構成 カードゲーム／まとめ
- 所要時間 15分～30分程度
- 参加形式 グループ分け(各グループ3～6名程度)によるテーブルゲーム(カードゲーム)
- 推奨人数 40名程度 (※グループ数を調整することにより3名より可能)
- 目的 私たちの生活が電気や燃料に頼った生活をしていることを見つめてもらいます。
また、電化製品等に頼らずにそれらの機器の代わりになる方法を各自が考えること
で、日常生活の中で各自のやり方や頻度で実践していくきっかけ作りを行います。



財団法人 北海道環境財団 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F TEL.011-218-7811 FAX.011-218-7812

■全体の流れと各活動毎のねらい



財団法人 北海道環境財団 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F TEL.011-218-7811 FAX.011-218-7812

※必要に応じ細かく主たる担当決めをしましょう
※記載されている担当は役割分担の参考です

ちきゅうおんだんか
ふせき隊。

財団法人 北海道環境財団 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F TEL.011-218-7811 FAX.011-218-7812

環境財団から貸出する備品

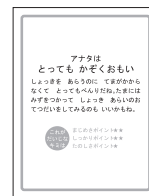
カードゲーム用カード一式

※裏側に **ちきゅうおんだんか** のイラストがあるカード



性格診断用カード一式

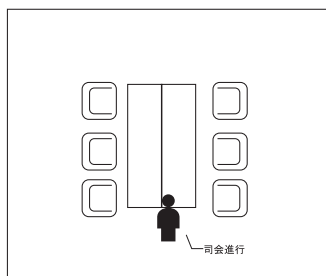
※カードゲーム用と片面は同様のイラスト
裏面に下のような性格診断があるカード



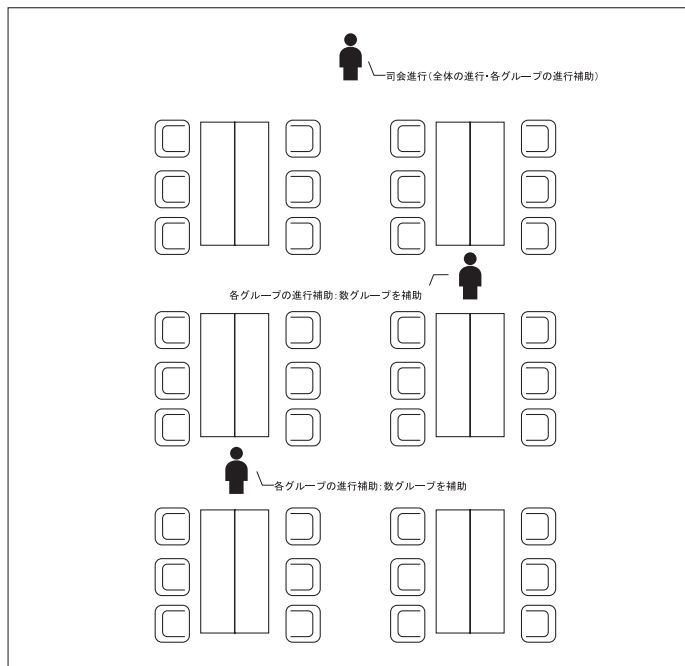
財団法人 北海道環境財団 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F TEL.011-218-7811 FAX.011-218-7812

会場内の配置は、会場の広さや参加人数によって異なります。下に参考として実施時のテーブル配置を記載します。
会場が、靴を脱いで上がる場所(畳やきれいな板間、カーペットなど)では、テーブル・イスを使用せずに実施しても良い。

[1グループでの実施時]



[複数グループでの実施時]



財団法人 北海道環境財団 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F TEL. 011-218-7811 FAX. 011-218-7812

アクティビティの進行スケジュールとスタッフのおおまかな動きです。このスケジュールを参考に当日の運営を実施してください。

時間	スケジュール内容	参加者の動き	スタッフの動き			備考	
			全体進行	司会進行	ゲーム進行・会場スタッフ		
	電気な人はだれ?～電気で分かる性格診断ゲームの開催	開催の合図	開催の言葉	来場受付→来場者の確認・席へ誘導			
"00	ゲーム内容の説明	席の移動 ※各グループの席へ	以降、 終了まで 進行を管理、 各場面の 合図を出す	ゲーム内容の説明	各グループの進行補助	※メンバーによっては、 自己紹介的なものとし、 リラックスタイムとする。	
"05	カードゲームの実施	各グループ 席		ゲーム進行			※参加人数が少なければ、 進行役も参加者の1人になる。
"10							
"15				ゲーム終了の アナウンス			
"20	話し合い・シートへの記入	まとめの言葉					
"25	ゲームでわかる性格診断終了						
"30							
"35							
"40							
"45							
"50							
"55							
"60							



財団法人 北海道環境財団 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F TEL. 011-218-7811 FAX. 011-218-7812

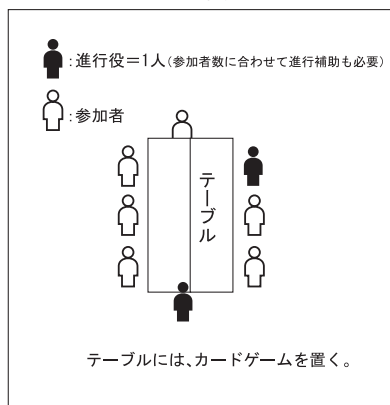


各シーンでの動き

■ゲームの導入

[ゲーム進行時]

※1グループでの進行例



テーブルを囲むように座ってもらい、カードゲームをすることをナレーションします。

■ゲーム導入説明ナレーション例

『これから、イラストカードを使ってちょっとしたゲームをします。

私たちの生活は、電化製品やガス器具、クルマなどの道具に支えられていますね。皆さんも、家ではたくさんの電化製品などを使っていると思いますが、このカードには普段みなさんがお家で使っているようなものがイラストで描かれています。これから行うゲームではルールが2つあります。

1つめです。この先、石油などのエネルギーが少なくなって「各家庭で使っているのは3つだけ！」という社会になったと考えてみてください。つまり、皆さんが選べるカードは3枚だけです。3つしか持てないとしたら、何が必要か考えてくださいね。

2つめです。3つしかカードを持っていないので、その他の電化製品やガス器具をあきらめていかなければいけません。でも、我慢は長続きしませんね。なので、あきらめるカードを捨てて行くときには、「それが無くても代わりにこうするから良い」というアイデアを自分で考えて発表してから捨ててください。例えば、扇風機のカードを捨てる時、暑いときに扇風機がなくても涼しくなる方法を発表するということです。』

●ポイント

- どんなカードを使うのか手にとってもらいながら理解してもらう。
- 各家庭で3つしか電化製品などを選べないという設定にする。
(3枚しかカードは選べない)
- カードを捨てる時には、代わりになるアイデアを言わなければならない。
- 1～2枚のカードを使って具体的な「代わりのアイデア」を例示する。
(何のために必要な道具かを理解してもらった上で、具体例を言うようにする)
- 参加人数によっては、進行役は、参加者と一緒にゲームを実施しても良い。
(1グループが3人以上になるようにスタッフも参加する)
- 私達はたくさんの電化製品等を使っていることを理解してもらう。

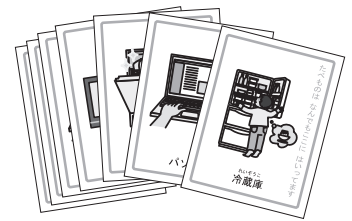
ゲームで使用するカードを準備してください。

カードは2種類あります。

最初に使用するカードは、右図の上側(A)です。

性格診断が書かれたカード(右図の下側(B))はAのカードを使ったゲーム終了後に使用します。

必要に応じて、ふりかえりシートを作成してください。



カードゲーム用カード一式

※裏側に「ちきゅうおんだんかふせき隊」のイラストがあるカード(A)

●ゲーム本体(カードゲームに使用するカード: 2種)

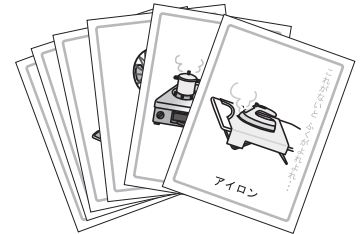
※1グループにつき、下記の1セットを使用します。

- ・カードゲーム用カード一式(A)
- ・Aに対応した性格診断カード一式(B)

●ふりかえり用紙

※1人につき、ふりかえり用紙は1枚使用します。

- ・フォーマットは、その時の状況により主催者側で用意してください。
(本マニュアル13参照)
- 状況に合わせて、現在(今日)の家電の使用状況を振り返るために使用します。



性格診断用カード一式(B)

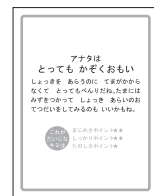
※カードゲーム用と片面は同様のイラスト
裏面に下のような性格診断があるカード

●さらに学びたい人へ

・地球家族 世界30か国のふつうの暮らし

著者: マテリアルワールド・プロジェクト、代表ピーター・メンツェル

TOTO出版 発行 / 1,893円+税 / 1994年11月10日初版 1刷発行



財団法人 北海道環境財団 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F TEL. 011-218-7811 FAX. 011-218-7812

■ゲームの進行方法

① カードを配る

電気やガスなどを使う機器が描かれたカード(A)を参加者1人につき3枚ずつ配る。

参加者は手持ちのカードを、自分の前に開いて並べる。

※トランプゲームのように各自が手元に持って進めても良い。

② 余ったカードはテーブル中央へ

残りのカードは重ねたままイラスト面を伏せてグループ中央に置く。

③ 各自で手元のカードを確認する。

④ ジャンケンして、中央に置いたカードをひく順番を決める。

⑤ どのカードを残すか考える

順番に、1人が中央のカードをひき、手持ちのカードに合わせる。

「3枚しか持つことができない」ことを参加者に再度伝え、手元の4枚のうちから

最も不要と思われるカードを捨てる(手元のカードは常に3枚)。

このとき、「かわりに〇〇するからいい!」と、捨てたカードに代わる行動や

理由を言ってから捨てる。(例: うちであおぐのでクーラーはいらない等) (注1)

⑥ 順次繰り返す

一人がカードを引き、捨てたら次の人が⑤を行い、中央のカードがなくなるまで繰り返す。

⑦ 最終的には1枚を選ぶ

中央に置いたカードがなくなったら、手元の3枚から最も必要な1枚を選ぶ。

このとき、不要とした2枚については、⑤同様に理由を発表する。

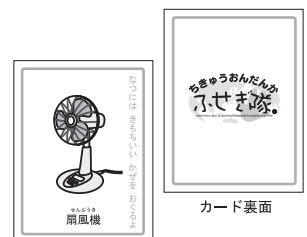
⑧ 性格診断を行う

手元に残った1枚のカードと同じ絵柄の性格診断カードを渡し、各自で読み上げてもらう。

(注1) すぐに答えられない参加者がいるときは、スタッフは状況に応じアドバイスする
同じグループの参加者と一緒に考えるようにし、急がせないようにする。



※⑧



・イラストカード:(A)



・Aに対応した性格診断カード(B)



財団法人 北海道環境財団 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F TEL. 011-218-7811 FAX. 011-218-7812

■ゲームの締めくくりは、多様性に富み、固定化されているものではありません。

いくつかの例を紹介します。※これらは1日の流れを踏まえ、実施の参考にしてください。

●異なるルールで再度行う。

ゲームに使うカードを、最初に「みんなが使っている電化製品はどれ？」と選んでもらい、それらのカードを使ってゲームを展開する。

●家庭で実際に今日使った家電を振り返る。(次項参照)

●他のプログラムへつなげる

・「南の島体験ゲーム」実施マニュアル10より記載があるスライドを使って地球温暖化の話題へつなげる。

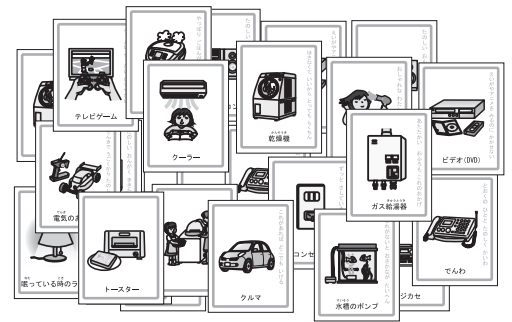
・ストップおんだん館(<http://www.jccca.org/ondankan/>)が貸し出しを行っている各種アクティビティにつなげる。

ライフスタイル研究所 ～省エネ大作戦～

様々な電化製品のスイッチが入りっぱなしで、散らかされた部屋の写真をしながら展開する。

持てるかな? ～エネルギーのかばん～

3カ国(米、日、中)の1人1日当たりのCO2排出量(重さ)を体感することから展開する。



・全部で33種類→普段使っているものを選択



財団法人 北海道環境財団 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F TEL. 011-218-7811 FAX. 011-218-7812

■まとめ (家電利用状況チェックシートへの記載)

性格診断の活動終了後、進行に注目してもらい、ゲームのまとめへつなげていきます。

※複数グループで行う際には、グループごとに終了のタイミングにばらつきが生まれるため、早く終了したグループにはスタッフがつき、どんなものが捨てられなかったかを聞くなどしながら参加者とコミュニケーションをとり対応する。

●ふりかえり(問いかけとメッセージの伝達)

- ・性格診断は当たっていたか ・普段の生活の中でゲームでやったように捨てられるものはあると思ったか?
- ・発表してくれたことは電化製品等の使い方の方々の様々なアイデア。
- ・使う時と使わなくても良い時とを意識するだけでもエネルギーの節約につながる。



配布する用紙の例

いくつか書いてもらう ↓	どれかに○をつける ↓
電化製品の名前	良く使う、使わない、たまに使う
	良く使う、使わない、たまに使う

■まとめの例(Aパターン)

性格診断はどうでしたか? 合っていたという人はどのくらいいましたか? (挙手)

私たちは普段の生活の中で、どうしても捨てられない機器が沢山ありましたね。

さて、ゲームで行ったように普段の生活の中で、「捨てる」ということが出来るかなと思う人はどのくらいいますか? (挙手)

私はゲームと同じように捨てることなんて出来そうもありません。でも、「使い方を考えてみる」ということは出来そうです。実は皆がカードを捨てる時に言ってくれた「代わりの方法」には、そのヒントがいっぱい詰まっています。人が出来ることでも自分が出来ないということも多くあると思います。どうしても使う必要がある時には使い、余裕がある時、使わなくても他の方法で代わりになる時には、そうした方法を試してみてもいいかなと思います。今日考えてもらったように、他の行動でできる時はないでしょうか? ゲームでお話したような「3つしか使えない」という社会にならないためにも、エネルギーを皆で大切に、賢い使い方を考えていけると良いですね。

■まとめの例(Bパターン)

- ① 今日、ここに来るまでに使った機器を10個あげ、書いてみよう。
- ② 1つ1つに、【良く使う、使わない、たまに使う】のどれか答えてみよう。
- ③ 使わないものがあつたかな?
- ④ まとめ例(Aパターン)につなげる。

●展開例

(総合的な学習の時間など、ゲーム実施後に関連した内容を取り上げることが出来る時は、ふりかえり用紙を活用したり、家庭や学級で実際に取り組みを行ってみることも考えられます。)



財団法人 北海道環境財団 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4F TEL. 011-218-7811 FAX. 011-218-7812